途chu（トチュー）目の最chu（サイチュー）のチュー目案件



06 持続可能な宇宙の未来の件

私たちの暮らしに欠かせないインターネットの通信や防災・農業で活用される地球観測など、さまざまな場面で活躍している小型人工衛星。その活躍を支える技術が柏の葉で開発されています。今回は、宇宙へ挑む注目のスタートアップ企業の取り組みを調査しました！

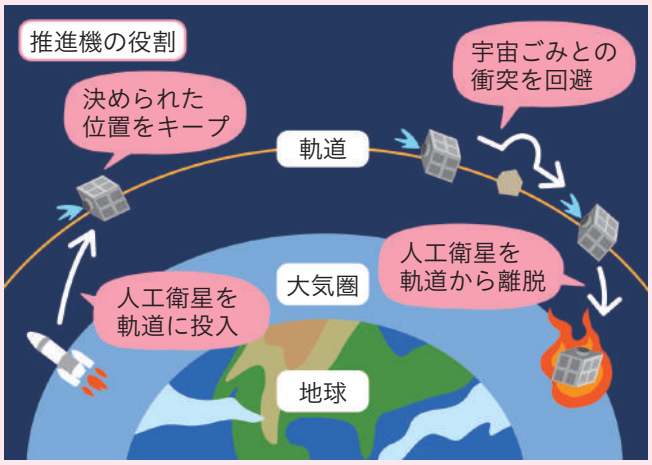
宇宙の未来を支える「推進機」

近年、宇宙ビジネスの活性化によって飛躍的に増加している人工衛星。無数の人工衛星が飛び交う広い宇宙の中で、安全に活躍するために必要不可欠なのが、いわば心臓部となるエンジン「推進機」です。この重要な機器の開発に挑んでいるのが、柏の葉に拠点を置く企業「Pale Blue（ペールブルー）」です。



Pale Blueが開発した推進機

推進機は、ロケットから切り離された人工衛星が目的の軌道まで移動し、通信や観測を行うために欠かせません。また、決められた位置から外れないようにしたり、宇宙ごみとの衝突を回避したり、役目を終えた人工衛星を安全に処分したりと、宇宙をこれからも利用していくための重要な役割を担っています。



POINT
役目を終えた人工衛星を大気圏に突入させることで機体が燃え尽き、宇宙空間にごみを残さないようにすることができます

柏の葉で育った最先端技術

Pale Blueは、東京大学柏キャンパスで推進機の研究や開発プロジェクトに携わっていたメンバーが、その研究成果を社会で役立てたいという思いから立ち上げた企業です。現在は柏の葉に2つの拠点を構え、研究開発や検証を行っています。

さらに、県外にも拠点を広げ、量産化に向けた製造や試作を行っています。高精度な推進機が日々生み出され、挑戦はさらに加速しています。


茨城県つくば市に開設した生産技術開発拠点内のクリーンルーム

POINT
クリーンルームでの超精密な作業。
防じん服を着て、一つ一つ丁寧に作っています

国もJAXAも世界も大注目！

同社の推進機は、文部科学省やJAXA（宇宙航空研究開発機構）の補助金事業に採択されて国からも開発をサポートされているほか、世界中の宇宙企業にも次々と採用されています。持続可能な宇宙の未来を支える研究開発は今日も進行中。柏の葉から世界へ、そして宇宙へと羽ばたくPale Blueの挑戦から目が離せません。

【問い合わせ】 産業政策・スタートアップ推進課
☎7167－1141・FAX7162－0585